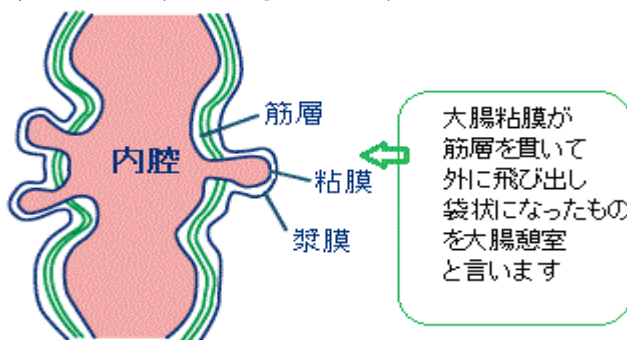


## 健康おまかせ隊

### ・・・大腸憩室炎のはなし・・・

憩室炎の憩室(けいしつ)とは、大腸粘膜の一部が腸管内圧の上昇により、そとに飛び出しているもので比較的高齢者に多い病気です。

大腸検査などで発見されることも多く、無症状では治療の必要はありません。しかし、便がつまったりして炎症を起こすと憩室炎を起こし、発熱や腹痛、下血等きたし、ごくまれに大出血を起こすこともあります



### 憩室の原因は何か

最近の食生活の欧米化とともに、肉食が多く食物繊維の摂取量が減少したため、便秘や腸管の収縮、腸管の内圧の上昇を起こしやすくなったと考えられます。第二の原因として、加齢によって腸が弱くもろくなる事があげられます。そのほか、体質、人種、遺伝、生活環境などの要因も複雑に作用し合って発生すると考えられています。

### 憩室炎の症状の現れ方

炎症が軽い時は、腹部が周期的に痛み、下痢、便秘をします。炎症が進むと腹痛に加え、発熱や血便が出たりします。時に憩室の中の動脈が敗れ大出血する事もあります

進行すると穿孔(孔(あな)があく)、穿孔性腹膜炎、狭窄(きょうさく)による腸閉塞、周囲臓器との瘻孔形成(小さな孔が通じる)を生じることがあります。

## 憩室炎の検査と診断

症状があれば、血液検査、CT等で検査します

憩室そのものの有無を確認するには、大腸の内視鏡やバリウム検査がいますが、炎症がつよいときはこれらは行いません（ただし出血の量が多いときは、どこで出血しているか特定するために緊急内視鏡を行います）

憩室に穴があき腹膜炎になると、大腸の中には細菌が無数にいますので、放置すると炎症が進み敗血症を起こしたりします

## 憩室炎の治療の方法

軽症の憩室炎は消化のよい食事をとり、抗生物質を内服することで治ります。発熱があるときは抗生物質を点滴したり、症状に応じては入院し絶食にすることもあります。

腹膜炎や憩室周囲に膿みがたまったときは手術が必要です。とくに腹膜炎症例では救命を第一に、穴のあいたところを持ち上げて人工肛門とし、腹腔内をよく洗い、また膿がたまらないよう管をいれます。

### \* 大腸憩室症に気づいたらどうする \*

無症状であれば放置しておいてよいのですが、合併症を予防する目的で、できるだけ繊維成分の多い食事を摂取し、便通を整えるように心がけることが大切です。

年に1度は大腸がん検診を受けましょう。

便潜血反応が出てからの大腸カメラ検査により憩室が見つかることがあります。

